

北海道浮魚ニュース

平成 19(2007)年度 14 号 (通巻 No.247)

2007 年 8 月 31 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋～オホーツク海スルメイカ資源調査結果

- ・道東太平洋 : 分布密度は前年より高く, 分布が広い。
- ・根室海峡～オホーツク海 : 分布密度低い。

- ・調査期間 : 2007 年 8 月 21 日～8 月 30 日
- ・調査海域 : 道東太平洋～オホーツク海 (図 1)
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場), イカ釣機 6 台装備

1. スルメイカの分布密度 (図 1, 図 2)

道東太平洋では, 調査海域に広くスルメイカの分布が確認されました (図 1)。十勝から根室の沿岸の調査点および根室の南方沖合の調査点におけるスルメイカの分布密度は, CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) が 0～11.06 でした。8 調査点の平均 CPUE は 4.16 で, 前年 (0.23) を上回りました (図 2)。

根室海峡～オホーツク海では, 6 調査点のうち 4 調査点でスルメイカが漁獲されました。CPUE は 0～0.43 と低い値が多くなっていました (図 1)。

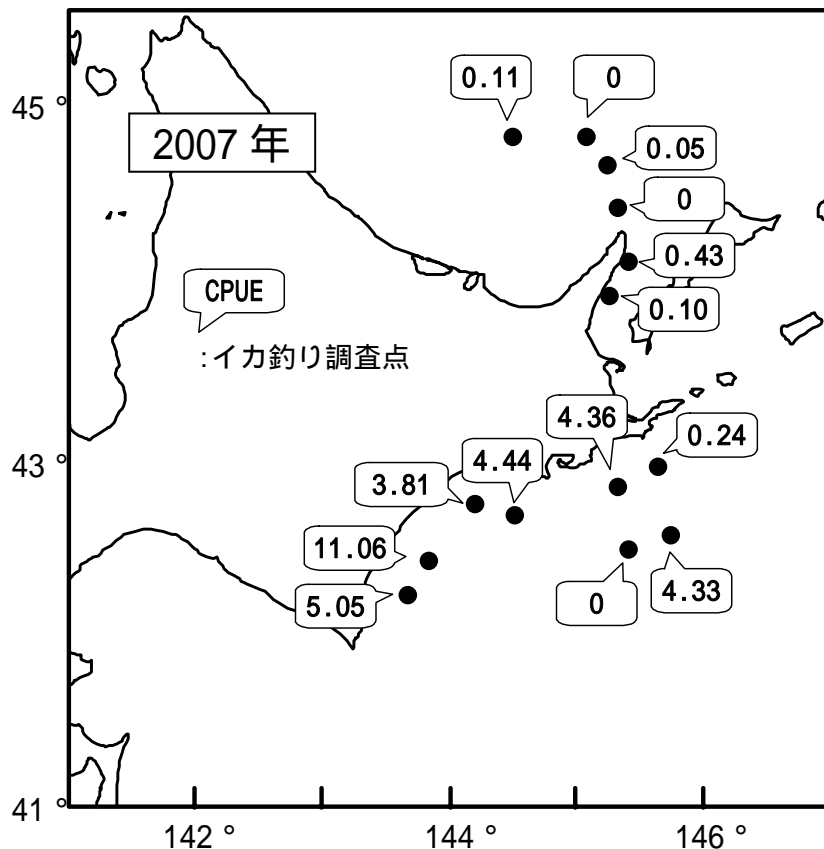


図 1 2007 年 8 月の道東太平洋～オホーツク海におけるスルメイカの分布密度
分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。

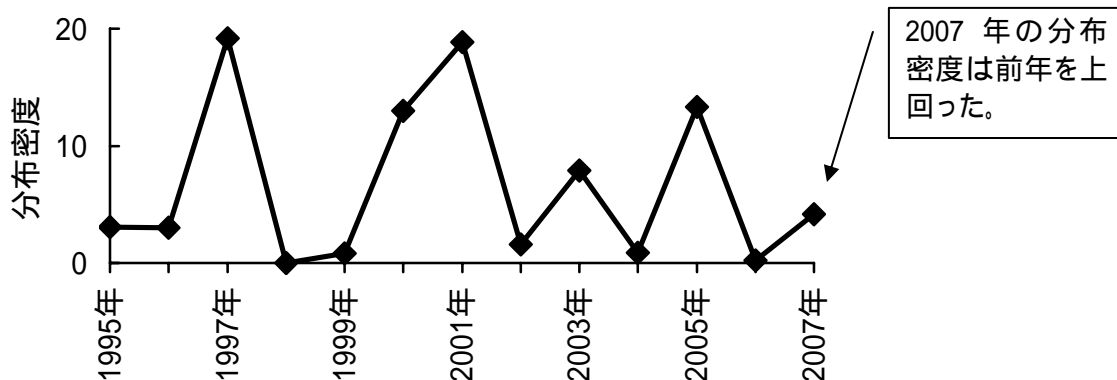


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度
分布密度はCPUEの平均で示した。

2. スルメイカの大きさ

(図3)

道東太平洋の調査点でのスルメイカの外套長(胴長)の範囲は、16~25cmでした。外套長組成のモード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は20cmで、前年(21cm)よりも、わずかに小型でした。

根室海峡~オホーツク海で漁獲されたスルメイカの外套長は、範囲が14~21cm、モードが19cmでした。前年より大型でしたが、今年の道東太平洋と比べると、やや小型でした。

3. 表面水温

道東太平洋の表面水温は14.9~18.4(前年:19.6~21.9)で、前年より低くなっていました。

根室海峡の表面水温は18.8~19.0(前年:19.9~20.0)で、前年より低くなっていました。

オホーツク海の表面水温は17.6~19.5(前年:17.6~19.9)で、ほぼ前年並みでした。

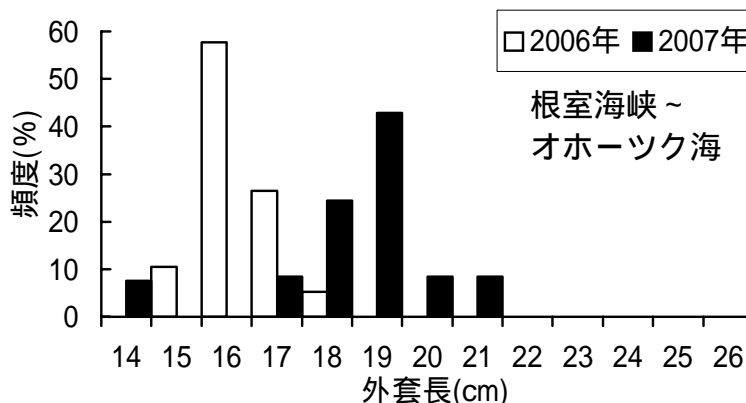
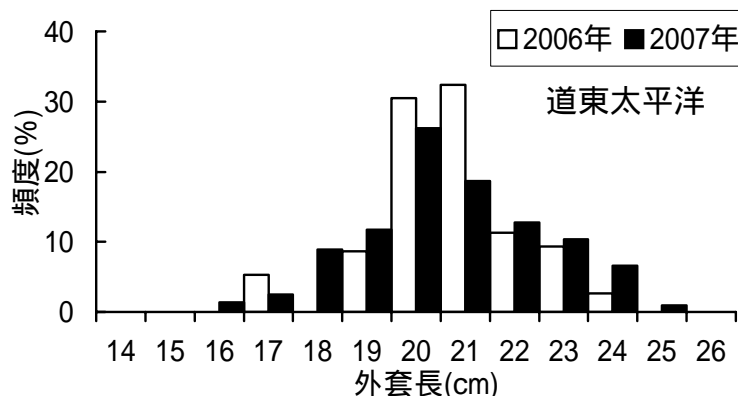
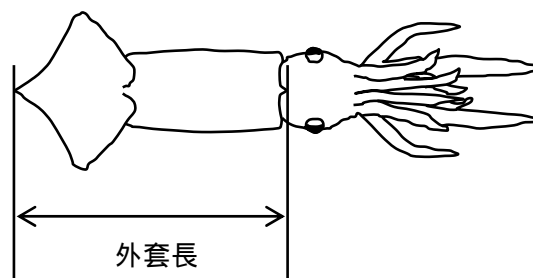


図3 8月に漁獲されたスルメイカの外套長組成
(上:道東太平洋,下:根室海峡~オホーツク海)



本調査結果と各研究機関の調査結果をもとにして、第2次スルメイカ漁況予報が9月下旬に発表されます。

(文責: 釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)